

リハビリテーション科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	ALS（筋萎縮性側索硬化症）のリハビリテーション治療における予後不良に関わる因子
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	リハビリテーション医学講座 教授 尾川貴洋
研究の対象となる方	2020年1月から2028年11月までにリハビリテーションを受けた筋萎縮性側索硬化症の患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2029年3月31日
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕 筋萎縮性側索硬化症のリハビリテーション治療における経過の違いに関わるものが何かを探索することを目的としています。</p> <p>〔利用方法〕 筋萎縮性側索硬化症のリハビリテーション治療における経過の違いに関わるものを明らかにすることで、より早期から効果的なリハビリテーション治療を提供できる可能性があります。</p> <p>そのため、経過の違いで2群に分け、診断時の手足の筋力に違いはないかなどの比較検討などを行います。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕 非該当</p> <p>〔外部への提供開始日〕 非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	<p>試料：非該当</p> <p>情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、既往歴、血液検査結果、筋力、呼吸機能などの情報を収集します。</p>
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2029年2月28日までにメール送信により下記問い合わせ先まで申し出てください。

場合	
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 リハビリテーション部 担当者：理学療法士 田中拓哉 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 36900) メールアドレス： <a href="mailto:tanaka.takuya.768@mail.aichi-med-u.ac.jp">tanaka.takuya.768@mail.aichi-med-u.ac.jp</a>